

特別委員会報告

各特別委員会で審議された案件及びそれに対する質疑のうち、主なものについて報告します。

防災対策特別委員会（12/20、2/19）

静岡県第4次地震被害想定の中間報告を確認

県の新たな被害想定や取り組み、津波対策の現状などについて報告を受けました。県の中間報告によると、本市の津波高は、最大10メートル、平均9メートルとの想定となっており、今後、平成25年6月頃に、第4次地震被害想定及び新地震対策・津波対策アクションプログラムが公表される見込みとのことです。

Q 本市の多重防御に対する考え方はどうか。

A 防潮堤や国道150号バイパスなど、できるだけ多くの施設を組み合わせ、さらにはソフト事業も加えた多重防御を図っていきたい。

Q 浅羽地域の農地を津波から守ることも必要と考えるがどうか。

A 農地の復旧が短期間でできるよう、トータル的に被害を軽減していく観点からの対策を行っていききたい。

下水道管路液状化調査の結果、85箇所にマンホールの浮上の可能性があるとは判明

本市の下水道管路施設は、当初から液状化対策は講じられていると判断していたが、東日本大震災の被害状況や液状化危険度マップの策定により、検証する必要があるため、345基を対象とした調査を行った結果、85箇所にマンホールの浮上の可能性があることが判明したとの報告を受けました。

今後、調査した上で、対策が必要な箇所を対象に、工法選定や概算工事金額の算定を行うとのことです。

議会改革特別委員会（12/21、1/16、1/30、2/19）

一般質問において、一問一答方式と一括方式との選択制となること決定

議会での議論の活性化と、市民の皆さんに分かりやすい議会運営とするために、平成25年6月定例会から、一般質問において、従来の一括質問一括答弁方式と一問一答方式とを選択できるようにしました。

※一括質問一括答弁方式とは

議員が質問項目全てを一括して質問し、それに対し、市長などが一括して答弁を行う方式。

※一問一答方式とは

議員が1つの質問項目ごとに質問し、それに対し市長なども一問ずつ答弁を行う方式。

地域医療・新病院特別委員会（2/1、3/7）

中東遠総合医療センター建設用地の取得費が確定

造成工事が昨年末に完成し、用地の取得金額・面積が確定しました。

用地費	6億5,197万3,251円
造成費	6億8,076万5,489円
追加造成費（土工事費・既存樹木移植費）	4,325万1,600円
道路工事費（市道高御所久保線・富士見台公園北線）	1,654万8,000円
計	13億9,253万8,340円

Q 新病院進入道である居沼池西線・掛川袋井南線の進捗と、掛川市に支払う組合負担額は。

A 平成25年3月までには完了し、開院までには供用できる。居沼池西線の組合負担額は約8,400万円、掛川袋井南線の負担額は3,200万円弱となる。